

# ⚠️ 警告 安全のために

## 警告表示の意味

取扱説明書、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えることがあります。

### 注意を促す記号



火災



感電

### 行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



火災



感電

下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡や大けが**の原因となります。

### 分解や改造をしない



火災や感電、事故の原因となります。  
内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

### 本機はDC12Vマイナスアース車専用です



大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、24V車で使用すると火災などの原因となります。

### 運転操作や車体の可動部を妨げないように取り付ける



運転の妨げになる場所、車体の可動部の妨げになる場所に取り付けや配線をすると、事故や感電、火災の原因となります。

- ネジやシートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まない。
- コード類はまとめる。
- ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどが正しく操作できることを確認する。

### 規定容量のヒューズを使う



ヒューズを交換するときは、必ず電源コードのヒューズケースまたは本体に記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。  
規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。

### マグネットホルダーは安全な場所に保管する



マグネットホルダーは強力な磁石と同じです。磁気カードなどに近づけず、ご自宅などで大切に保管してください。

### 車速パルスの確認作業は2人で行う



車速パルスの確認は、1人が運転、もう1人が車速パルスを確認するようにして、必ず2人作業で行ってください。

SONY®

# 車速パルス発生機

## 取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いを示しています。この取扱説明書およびご使用になるナビゲーションシステムの接続説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

## XA-200S

Sony Corporation ©1998 Printed in Japan

ソニー株式会社〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ  
●ナビダイヤル ..... 0570-00-3311  
(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)  
●携帯電話・PHSでのご利用は... 03-5448-3311  
●Fax ..... 0466-31-2595  
受付時間:  
月～金 9:00～  
20:00、  
土・日・祝日 9:00～  
17:00

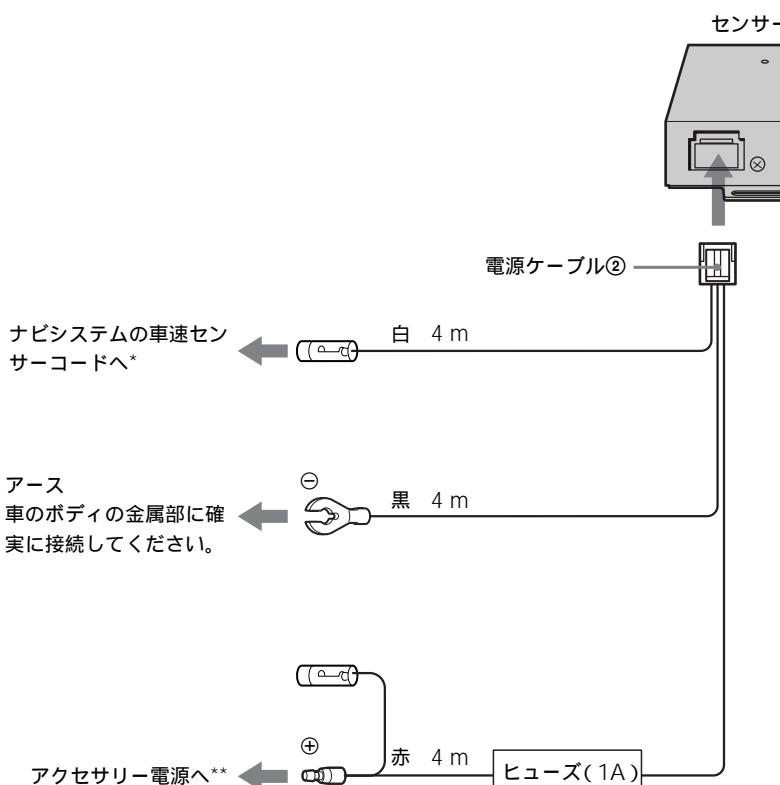


\* 1 - 3 - 8 6 5 - 1 8 5 - 0 2 \* (2)

## 接続

### ご注意

- 赤色コード(アクセサリー電源)は、車のキーがLOCKかOFFの位置で電源が切れ、ACCの位置にしたとき電源が供給される電源回路(ラジオ回路など)に接続してください。車のキーの位置に関係なく、常に電源が供給されている電源回路に接続すると、車のバッテリーが消耗してしまいます。
- 黒色コードを必ず先にアースしてから、他の接続をしてください。
- 白コード線は、ナビシステムの車速センサーコードに接続してください。



## 本機の概要

XA-200Sは、NVX-W1、NVX-FW1、NVX-FW5、NVX-DV1、NVX-DV501、NVX-DV701専用\*のセンサユニットです。本機は、磁化したタイヤの回転を読み取り、その情報を車速パルスのデータとしてナビシステムの自律センサーに送り込みます。本機を正しく動作させるためには、次の作業が必要です。

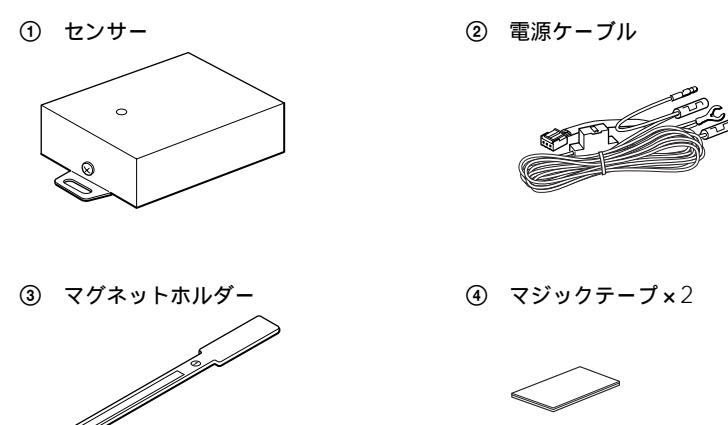
- 付属のマグネットホルダーを使って、タイヤを磁化する。
- センサーを、タイヤの磁気を読み取れる位置に設置する。
- センサーをナビシステムに接続する。

\* '99年9月現在

### ご注意

- 踏み切りや鉄橋、高架橋などを通過すると、誤差が発生することがあります。
- センサーの取り付け向き(前後や左右)を誤ると、誤差が発生することがあります。
- 車室内取り付け専用です。(防水ではありません。)
- タイヤチェーン装着時は磁気を正しく計測できないため、自車位置に誤差が生じる場合があります。

## 同梱品



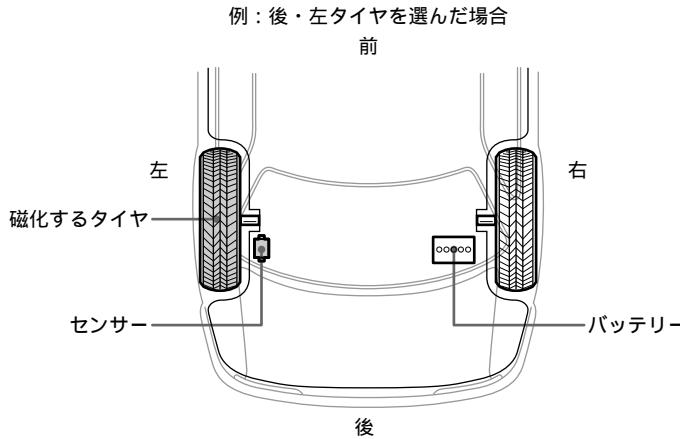
# タイヤを磁化する

## 磁化するタイヤの選択について

後部タイヤのどちらか1本を磁化します。あらかじめセンサーを設置する位置を決め、センサー側のタイヤを磁化します。

### ご注意

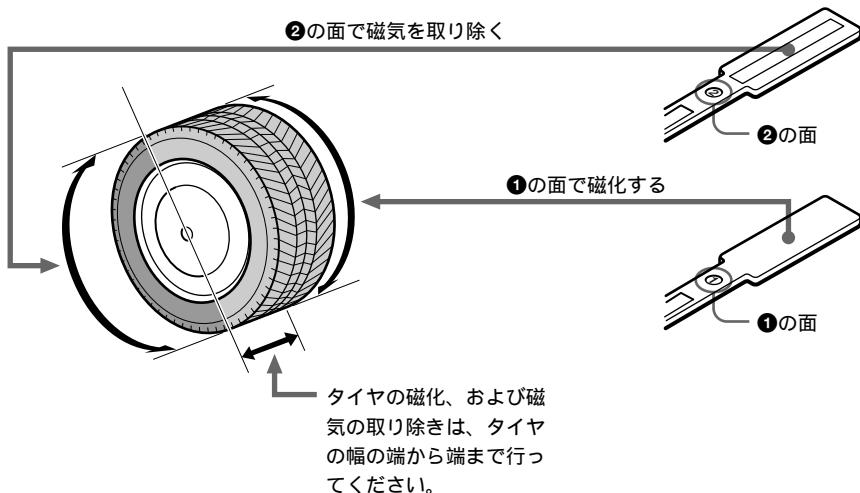
- ・前輪では使用できません。
- ・トランク内にバッテリーがある車種では、バッテリーから遠い方のタイヤを磁化してください。



## 磁化する部分について

タイヤの180°(±15°)の範囲を磁化します。磁化する範囲は、マグネットホルダー③の①の面でこります。

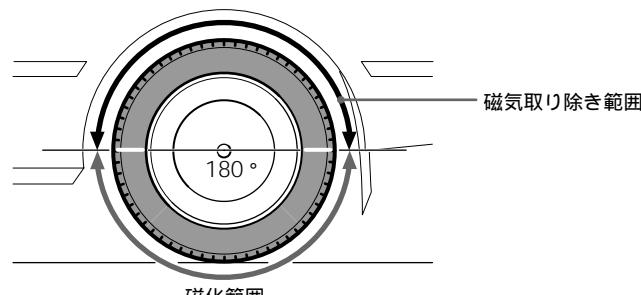
磁化しない部分については、タイヤが元々持っている磁気を取り除く必要があります。磁気を取り除く範囲は、マグネットホルダー③の②の面でこります。



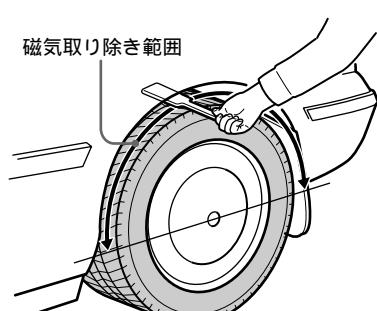
## 磁化の手順

### 1 水平な場所で車を停め、白いチョークまたはテープなどで、磁化するタイヤに180°の目印をつける。

安全のため、エンジンを止めてサイドブレーキを引き、車輪止めを行ってください。



### 2 マグネットホルダー③の②の面で、磁気を取り除く範囲(180°)のタイヤの表面をこする。



### ご注意

タイヤと車体の間にマグネットホルダー③が入らず、磁気を取り除く範囲(180°)をこすれない場合は、ジャッキを使うか、タイヤを取り外して作業を行ってください。手順3のタイヤを磁化するときはも同様です。

### 3 車を1mほど進めて、磁化する部分(180°)が上になる位置にする。

安全のため、エンジンを止めてサイドブレーキを引き、車輪止めを行ってください。

### 4 マグネットホルダー③の①の面で、磁化する範囲(180°)のタイヤの表面をこする。

## タイヤの交換やタイヤローテーションをしたときは

上記の手順で、交換後のタイヤを改めて磁化してください。

タイヤの磁化は、1年に1度行ってください。

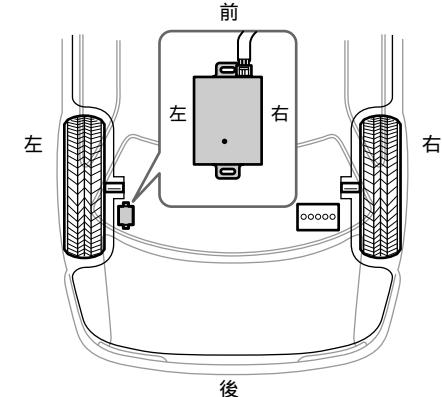
# センサーを取り付ける

## センサー①の取り付け位置について

センサーは、トランク内(1ボックス車の場合は室内)の磁化したタイヤ側の壁近くに取り付けます。センサーの向き(前後、左右)を間違えないように取り付けてください。

### ご注意

- ・アンプ、スピーカーなど磁気を発生する機器(それらのコード類や電源コードを含む)から、5~10cm程度離して設置してください。
- ・トランク内にバッテリーがある車種では、バッテリーケーブルからできるだけ離して設置してください。
- ・スペアタイヤボードの上など、車の振動で動く場所には取り付けないでください。
- ・水平な場所に取り付けてください。15°以上の傾きがあると正しく動作しないことがあります。



## 設置場所の選びかた

センサーを取り付け、固定する前に、次の操作を行って設置場所を選んでください。

### ご注意

車速パルスの確認は、必ず二人で行ってください。

### 1 センサーを仮設置する。

センサーの向きを確認して、テープなどで仮止めしてください。

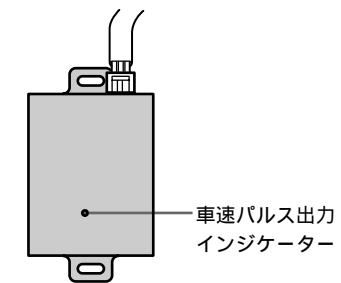
### 2 ナビシステムの電源を入れる。

車のエンジンをかけ、ナビシステムの電源を入れてください。

### 3 停車中に、センサーから車速パルスが出力されないことを確認する。

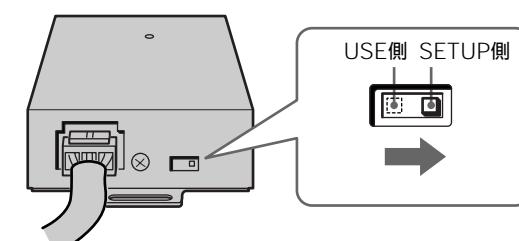
車速パルスが出力されると、センサーの天面にあるインジケーターが点滅します。停車中にインジケーターが点滅すると、センサーが外部のノイズを検知して誤動作していることがあります。

- 次の操作を行っても、車速パルスが出力されないことを(インジケーターが点滅しないこと)を確認してください。
- ・ワイパーやエアコン、ウィンカーなどの電装系の機器を操作してみる。
  - ・エンジンを空ふかしする。
  - ・カーオーディオ機器を装備しているときは、通常の音量で操作してみる。



### 4 センサーの出力切り替えスイッチをSETUP側にして、車速パルスが出力されていないことを確認する。

SETUP側にすると、センサーの感度が落ちます。センサーが磁化されたタイヤ以外からの磁気を感知して誤動作するときは、SETUP側に切り換えてノイズが入らない状態にしてください。



### 5 車を走行させて、動作を確認する。

安全な場所で車を時速5km以下の低速で走行させてください。

センサーが正しく動作すると、磁化したタイヤの磁気を検知して、車速パルス信号を出力します。車速パルスが出力されると、センサーの天面にあるインジケーターが点滅します。

動作に異常がなければ、出力切り替えスイッチをUSE側に戻してください。

### ご注意

携帯電話や無線機を近づけると、誤動作することがあります。電源を切るか、これらの機器を離して操作してください。

## ナビシステムの自律航法機能の動きが不安定なときは

車速パルス信号の出力が不安定である可能性があります。このようなときは、センサーの取り付け位置を前後にずらしてみてください。それでも、動作が不安定なときは、タイヤの磁化をやり直してください。

## 取り付けかた

取り付け位置が決まったら、マジックテープ④でトランクのカーペットなどに取り付けてください。テープを貼り付ける表面を、できるかぎりきれいにしてください。

